

# 全国一般全国協

2017年5月31日 No.137  
 全国一般労働組合全国協議会  
 編集発行人 渡辺啓二  
 東京都港区芝2-8-13 KITAMIZI芝3F  
 TEL03-6779-8382 FAX03-6453-7857  
 URL:http://www.nugw.jp/  
 Email:nugw@nugw.jp



第88回日比谷メーデー

戦争への道「共謀罪」を廃棄せよ！ 安倍の「働き方改革」を許さな！  
 「残業しないでも生活できる賃金」をめぐって、夏闘争をたたかおう！

現代版治安維持法・「共謀罪」を四度、廃案に追い込もう！  
 「森友」も「加計」も、これ以上の安倍政権の横暴は許せない！

中小労組の17春闘は、未だ解決の途上にある。折も折、衆議院で強行採決し、ボロボロの「共謀罪」法案が、参議院へ送られた。「共謀罪」は、見分けのつかない「一般人」と、その「準備行為」が、警察権力の胸三寸決められてしまう。そして、警察権力が、捜査で「内心の自由」を侵し、嘘の自由を強制するという、天下の大悪法だ。「共謀罪」法案には、「一般人を対象としない」などと

いう文言は全く無く、「計画」と「準備行為」が警察に認められれば、誰でも処罰対象と成り得る規定となっている。そしてその量刑は、現行法の「予備罪」よりも重い。労組活動や市民の行動を狙い打ちし、多くの委縮をもたらすトンデモない悪法だ。共謀罪が制定されれば、今以上に、人と人との会話と行動、LINEなどのやり取りなど、広く「コミュニケーショ」そのものが監視対象とされる。

「計画」と「準備行為」が警察に認められれば、誰でも処罰対象と成り得る規定となっている。そしてその量刑は、現行法の「予備罪」よりも重い。労組活動や市民の行動を狙い打ちし、多くの委縮をもたらすトンデモない悪法だ。共謀罪が制定されれば、今以上に、人と人との会話と行動、LINEなどのやり取りなど、広く「コミュニケーショ」そのものが監視対象とされる。

「共謀罪」の廃案めざし立ち上がろう。行動しよう！国会前で、街頭で！「共謀罪は廃案！」「廃案！」「廃案！」の声を上げよう！安倍政権と闘おう！

## 安倍政権の「働き方改革」を許さない 闘いを、断固として強めよう！

「改革」などとは真の赤な嘘で、政府・経団連、さらには「連合」も一体となった「働き方改革（改悪）」である。「長時間労働規制」と「同一労働同一賃金」を謳い文句に、非正規労働者に期待を持たせているが、賃金と賃金格差の拡大に歯止めはかからない。まさに「過労死基準」と言われる、残業月100時間程度までお墨付きを与え、「改革」に値しない！

「改革」に値しない！「働き方改革」ははじめとした労働者を一身の法案化が進んでいる。労働政策審議会は急ピッチで進められ、悪法が作られようとしている。首切り自由の「解雇の金銭解決」法案も具体化しつつある。

- スケジュール**
- 6/10(土) 14:00～ 「共謀罪」廃案-国会包囲
  - 6/13(火) 18:30～ 「共謀罪」廃案-野音集会
  - 6/25(日)～26(月) 全労協 組織化宿舎 @箱根湖開雲



5・16「共謀罪」を廃案へ @日比谷野音

層搾取収奪する「働き方改悪」を断固許さず、闘いを強化しよう。そして、大衆行動を強め、法廷内外の闘いを強め、全ての争議解決めざし、勝利しよう！

フジビ最高裁闘争勝利！ 中労委・高裁・最高裁で闘うぞ！ メトロコマース支部20条裁判不当判決糾弾・控訴して闘うぞ！

FAユニテッド12名の解雇撤回・仲間を空に戻せ！ 大阪YMC中労委闘争勝利・書記長の解雇撤回・職場に戻せ！

# 職場闘争を強化し、非正規差別を打ち破ろう！

## 「労働契約法20条」 闘争の現在

労働契約法20条によつて非正規差別を撤廃させようという裁判闘争が、困難に直面している。

今年1月の宮城合同労働・ヤマト運輸事件に関する仙台地裁の判決も、3月の東京東部労組・メトロコマース事件に関する東京地裁の判決も、いずれも訴えた非正規労働者に対する差別を容認し

た。特にこの2件は賃金差別を問題としていたこともあって、仕事の中味や転勤の有無について、もともと非正規と正社員は違うのだから差別ではないと結論づけたものである。

労契法20条の立法時の厚労省通達では、その適用範囲を狭く限定しており、昨年の長沢運輸事件の1審判決がそれを「逸脱」したために、政府・

最高裁が下級裁判所を統制したことも伺える。我々からすれば、問題を正しく指摘したために反撃を食らったということでもある。

メトロコマース事件では、額は小さいものの残業代計算における差別を裁判所は認めざるをえなかった。このことは、私たちがさらに現状を精査して差別を認めさせる糸口になりうるとも言えよ

う。

全労協労働法制プロジェクトの講演で、近藤昭雄

中央大学名誉教授が指摘したように、歴史的な非正規労働者の形成過程を振り返り、かつては臨時労働者の闘いを組織したことを改めてとらえ返して、より幅広い非正規差別反対闘争を組み立てることが求められていると考える。

(中央執行委員・大野隆)

## 最賃キャンペーン17がキックオフ！



4/24 最賃闘争 キックオフ集会

4月24日、全国一般全国協・郵政ユニオン・下町ユニオンの呼びかけで、「最賃大幅アップキャンペーン2017キックオフ最賃運動交流会」が開かれた。15団体の仲間が参加した。郵政から「最賃アップと17春闘」、大阪自治体非正

規の賃金底上げ」の報告、江戸川ユニオンから「公契約条例と最賃アップ」、東京東部労組から「多摩ミルク支部の固定残業代廃止裁判での画期的和解」の報告、等がおこなわれた。17最賃闘争を「今すぐ千円、めざせ千五百円」を広く訴えて署名を集め、審議会に意見書を出し、傍聴や陳述を実現しよう。

## 5・10 コンビニ大手3社へ

### 要請行動をおこなう

5月10日、昨年に引き続き、コンビニの大手3社(セブンイレブン・ローソン・ファミリーマート)

に対し、求人募集賃金の引き上げを要請する申し入れを行いました。コンビニスタッフの求人募集賃金が、地域の労働者の賃金決定に大きな影響力を持つことから①全国す

べての店舗において②1000円以下の求人をやめ、

一五〇〇円を目指すこと。

②前記を実現するためにフランチャイズ加盟店のロイヤリティを減額することを申し入れました。

最初に申し入れたローソンでは、後日、「時給アップに耐えられるような仕組みの簡素化・効率化に引き続き努力するとともに、ロイヤリティの減額」という点では、電気代の半額本部負担や廃棄

額の部分的な負担などの新しいパッケージでの支援を導入している」と回答を送ってきました。

セブンイレブンは、自身の回答を送ってきましたが、すでにこの秋からチャージ料(ロイヤリティ)を1%減額することを決めていた。

ファミリーマートは、要請事項を上伝えらるという対応でした。



5/25 全労協「労契法20条裁判」学習会  
講師：近藤昭雄 中央大学名誉教授



4/26「あらかぶさんを支える会」結成 @東京文京区

中小企業労組の17春闘は、5月に入っても粘り強く闘われている。

東京では、中小の春闘交渉が本格化するなか4月19日、全国協を含む中小企業労組が相互支援のため集中行動を闘った。

従来の権利春闘の取り組みに加えて、今年は久しぶりに中小民間の共同拡大を目指して取り組み

会社前250名、J ITCO前1000名の集会を実現した。

一般南部、神奈川シティ ユニオン、全統一、全国ユニオン、全造船関東などそれぞれの春闘行動を集中し、東京労組、東部労組も東部権利春闘の隊列を組み参加した。J A L 争議、韓国サンケン 支援を含めて、国交省前200名、首都高速道路



## 4・19首都圏中小集中行動に2500名

4.19 @首都圏会社前



## 4・26「あらかぶさんを支える会」を結成

福島原発被ばく労災損害賠償裁判の支援を！ ユニオン北九州

4月26日東京で「あらかぶさんを支える会」結成集会が開催されました。

ユニオン北九州から当該のあらかぶ(仮名)さん夫妻を含め4名が参加しました。フクシマ原発労働者相談センターの石丸小四郎さん、神奈川労働職業病センターの川本浩之さんの提案の後、あらかぶさんと本村委員長が登壇し進行役の質問に答えました。

あらかぶさんは、「震災津波映像を見て福島に立ちたいと収束作業に携わり、急性骨髄性白血病を発症した」「危険手当は2千円」「鉛ベストは人数分ない」「下請け労働者を捨てる駒のように扱う東電を許さない、次の人の為にも闘う」と力強い決意を述べました。

これに対して翌27日に東京地裁で行われた第2回口頭弁論で、東電らは「1000m以下の被ばくでは白血病との因果関係

は極めて小さい」と全面的に争う姿勢をとっています。

北九州でもユニオンを中心に「支える会・北九州」の結成を目指しています。これから将来にわたって続く被ばく労働者労働運動の重要な課題として取り組んでいきます。

7月28日には第3回口頭弁論が開かれます。

103号大法院を埋め尽くしましょう。

## 労組書記長指名解雇撤回の闘い

大阪YMCA労働組合 石原めぐみ

昨年11月、大阪労委が長を職場から排除した。学校法人大阪YMCAの一方、組合が勝利した不当労働行為を認定した事件は、法人の不服申立が、法人は、業務の一部により中労委へ。書記長を取り上げるなど、書記長解雇を問題視した中労委を狙った不可解な言動を続けていた。年明けに、財政難を理由に非正規教職員の希望退職募集を始めたが応募人数が足りず、2月27日、20人以上1年契約を繰り返してきた書記長に雇止めを通知。交渉中の3月8日には書記長の雇止めを公表し、3月17日には解雇撤回の抗議行動を機に自宅待機を命じ、書記長に自任を命じ、書記長を解雇し、書記長の復職を果たすつもりである。

法人は「契約の更新はしない」と述べている。組合は、大阪府や大阪市の関係機関にも働きかけ、指名解雇という法人の新たな不当労働行為を追及し、書記長の復職を果たすつもりである。



### 被ばく労働相談・争議の『報告集』

(24頁) 定価250円  
2017年3月11日発行

原発事故から6年、全国協のいわき・ふくしま・宮城の3労組が取組んだ労働相談と争議の報告集です。被ばく労働者の団結と闘いの前進にむけ購読をお願いします!!

全国一般全国協 (TEL) 0120-501-581

### 4・12 多摩ミルク支部裁判が画期的解決！ 固定残業代制度廃止させたぞ！ 東部労組



全国一般東京東部労組 多摩ミルク支部が、固定残業代の無効を主張したうえで未払い残業代などの支払いを東京地裁に求めた裁判で4月12日、組合側の主張がほぼ認められる内容で解決（和解成立）した。

解決内容は、原告の組合員3人に対し、未払い残業代として解決金を会社が出すこと、今後の労働条件は賃金の半分を占めていた固定残業代を廃止し、その大部分を基本給に組み込む賃金に是正させるものだ。

この問題で、同支部は経営者を刑事告訴し、会

社と経営者が昨年2月に刑事罰（罰金刑）に処せられた。また、昨年12月には固定残業代の廃止などを求めて72時間ストライキに決起した。こうして今回の画期的な解決が実現した。

### 「東本願寺（宗教法人真宗大谷派）僧侶の未払い残業賃金」をかちとる！ きょうとユニオン

この事件は、きょうとユニオンが2人の東本願寺で働く労働者（僧侶）から相談を受け2015年6月以来、取り組んできたものである。

2人は全国の門徒が本山の研修施設に宿泊しながらおこなう奉仕活動の世話をする「補導」という業務についていた。早期出勤、深夜退勤なども多く、超過勤務時間が130時間を超える場合もあったが、残業賃金は支払われていなかった。その根拠になっていたのは「時間外労働の割増賃金は支払わない」という1973年に労働者代表と締結した労使協定である。さらに組合員に対するパワハラもあった。

「信仰心があったからこそ、人を人として扱わず、いつ死者が出てもおかしくない職場を放置できなかった。奉仕団の方々と同様に補導も大切な人間だと認めて欲しい」と組合員が語っているように、彼らの闘いは宗教法人真宗大谷派の改革の闘いでもあった。

### 5・12「介護の切りすてアカン！みんなの大集会」に370人が参加 ケアワーカーズユニオン

5月12日、「介護の切りすてアカン！みんなの大集会」が北区民センターで開催された。昨秋から準備を進めてきた「介護・福祉総がかり行動」のスタート集会であり、370人が参加。この日までに個人賛同269名、団体賛同392が集まった。

集会には、福島瑞穂参議院議員（社民党）、辰巳孝太郎参議院議員（共産党）が参加、あいさつした。

集会には、福島瑞穂参議院議員（社民党）、辰巳孝太郎参議院議員（共産党）が参加、あいさつした。

この日をスタートに運動の輪をさらに拡げていくとともに、社会保障審議会・介護給付費分科会の議論に向けた署名・ネット署名の実施、介護相談ホットラインの実施、国会要請行動・厚労省交渉の実施、全国各地での集会・学習会・交流会の開催、などに取り組んでいくことにしている。

メイソウ講演として服部万里子さん（日本ケアマネジメント学会副理事長）が日本介護福祉ならびに医療制度の一体的改善の状況と問題点について提起。続いて、日下部雅喜さん（大阪



5/12 @大阪市北区民センター

「総がかり」では、この日をスタートに運動の輪をさらに拡げていくとともに、社会保障審議会・介護給付費分科会の議論に向けた署名・ネット署名の実施、介護相談ホットラインの実施、国会要請行動・厚労省交渉の実施、全国各地での集会・学習会・交流会の開催、などに取り組んでいくことにしている。

「奉仕や信仰」に甘えることなく、自らの下で働く労働者の雇用、労働条件について労働法を順守した対応を強く求めたい。

### 5/24 労働法制改悪と共謀罪創設に反対する 連帯集会・デモに2500人

戦争できる国づくりのための「共謀罪」法案が5月23日の衆院本会議で強行採決された。その翌



5・24 共謀罪を廃案へ@日比谷野音

24日夜、日比谷野音の「労働法制の改悪と共謀罪の創設に反対する連帯集会」に、2500人が集まった。この集会は、「労働運動と市民運動の連帯を目指す1日実行委員会」が主催した画期的取り組みだ。はじめに情勢報告を、共謀罪について海渡双葉弁護士が、そして労働法制について栗一朗弁護士がおこなった。各政党からも挨拶があった。各界からの連帯挨拶

として、①作家の雨宮かりんさん、②過労死家族の会、③総がかり行動実行委、④雇用共同アクション、⑤平和フォーラム、⑥反貧困のNPOほっとプラス、⑦若者のエキタスの訴えがあった。最後に、集会アピールで「市民運動と労働運動が手を取り合って連帯し、国民的運動と世論の力で今の国会と政治状況を変えていきましょう!」と確認して、銀座デモに出発した。

### 3・13〜19 福島連帯キャラバンに参加して...

東京労組・小笠原邦人

今回、初めてフクシマ連帯キャラバンに参加させて頂きました。私は3月13日の初日から参加することが出来ました。

東日本大震災から6年たった現在でも福島で起きた原発事故は終息の目処も立っていない。それにも関わらず、自主避難者への補償打ち切り、線量が高い地域にも関わらず帰還をさせる、挙句の果てには原発事故の反省も



### 新加盟労組の紹介

### 竹中佐野工場労働組合

組合事務所の前で撮った写真は、左から板橋書記長、川島委員長、広瀬副委員長です。今後ともよろしくお願ひします。

(嶋田記)

略称・竹中労組(組合員80名)は、栃木県佐野市にあり、一九七五年の結成以来、上部団体を持つことなく、佐野地区労に加盟し、由倉労組(今の荏原労組)の争議にも裁判の傍聴動員や、廻町にあった由倉本社申し入れなど積極的に参加してきました。一九七〇年に佐野に工場を設立した当時は、神奈川や茨城にも工場があ

りましたが、組合結成の要因にもなったオイルショック後の不況で、現在、工場は佐野市のみで、自動車などの部品製造工場で若さあふれる組合です。

で、会社と組合はユニオンショップ協定を結んでいます。組合員平均年齢30代の若さあふれる組合です。



改善もないまま再稼働させようという風潮が全国的に起きている。私はキャラバン参加前から、原発再稼働反対の気持ちに変わりませんが、参加後は尚更その気持ちが強くなりました。何故ならば、現地の人の声を聞いたからです。福島県

府のやり方は全くあり得ない話です。私達まで諦めてはいけないうと、現地の人達から背中を押して頂いた様に感じます。これからも私達で出来ることを福島の人達の為に、皆さんの力で押し進めていきたいと思っています。

# 第40回沖繩平和行進

5/11~14

## ゲート前、気付けば自分も一緒に…

ケアワーカーズユニオン 中尾さおり

5月13日から3泊4日の日程で、沖縄県民大会・平和行進をはじめ、ひめゆりの塔、沖縄愛楽園、辺野古ゲート座込みに参加しました。

綺麗な海、色鮮やかな植物、そして美味しい食事。自然に囲まれた沖縄は、大阪から訪問した私にとって楽園です。しかし、

最も印象に残った辺野古ゲート前座込み。早朝から、たくさんの市民がゲート前に集まり、「違

し、その裏側には、今も過去の戦争で苦しんでいる人たちが、現在も、基地建設計画に反対をしている市民がたくさんいることを学び、共感しました。



法工事中止せよ！」「MARINES OUT！」

などが書かれたプラカードを持ち、強い日差しが照り付ける中、建設工事反対の声を上げました。

建設工事車両が到着すると、集まった市民が両腕を組み、機動隊に押さえつけながらも座り込みを続ける姿に、最初は怖さを感じましたが、気づけば自分も一緒にになってしまいました。高齢者も多い中、今後も反対運動を続けるのは、本当につ

## 落雷・嵐の中、初めての平和行進

全国一般神奈川 佐藤修作

5月11日からの第40回沖繩平和行進に参加しました。沖縄へは何度か行っています。初めての平和行進でした。

12日は、沖縄県庁から

ひめゆりの塔までの19kmの行進です。私も十分に歩けると思っていました。多く参加者も、若くて元気でした。車椅子での参加者もいて協力し合っていたので、13日は、平和公園から

らく、苦しく、長い道のりだと思えます。遠い大阪の地で、早く解決し、沖縄の市民が平和で暮らせるよう、自分が出ることを考えて、実行していきたいと思っています。



の出発です。この日は時間がたつほどに雨と嵐と雷が激しくなり、城南市の昼食の時点で残念ながら行進は中止となりました。

14日は、辺野古の海の工事現場が見える大浦湾・瀬高海岸にバスで移動し県民集会に参加しました。バスの車窓から綺麗な山や海、集落の景色に基地の景色が飛び込んで来て、いまさら沖縄が基地

## 機動隊との攻防に身震いし…でも…

ケアワーカーズユニオン 西條千代子

初めて、この活動に参加しました。恥ずかしながら、なぜこの行進が今頃あるの？と思ったぐらい、何も知りませんでした。

出発する直前になり、5・15の意味、意義に気がつきました。もう少しはやく気付いていたら、職場の同僚にも啓発できていたのに、と反省しました。

最終回の県民大会と平和行進では、全国からの参加者や、海岸の集会なのに、車いすでの参加に、熱い思いを感じずにはいられません。行進が始まると、すれ違う人や車、住民の方々が、手を振り応援してください、うれしく思いました。



ケアワーカーズユニオン独自の活動として、15日には辺野古ゲート前で座り込みにも参加しました。住民の方々の切なる思いを知り、機動隊との攻防を目の当たりにして、身震いしました。リゾート地としての沖縄だけでなく、戦争や戦後の厳しい状況の沖縄もしっかり知って、また訪れたいと思いました。

県であることを実感しました。そして、新基地建設の強行です。海上で行動する力強い隊に平和への熱い思いを込めてエールを送りました。

